

「みどりのヒント集」の改訂について

■第 17 回板橋区景観審議会にて、〈報告〉1 みどりのヒント集の改定についての審議に関する対応及び今後のあり方について部会に諮り整理を行った。

1 「みどりのヒント集」(平成 26 年 3 月)の使い方

当時、植栽計画に理解を示されない建築設計者やハウスメーカー・住宅デベロッパーなどの事業者に対し、理解を深めてもらうために、「わかりやすさ・受け入れやすさ」を優先し体系化した資料として使用してきた。

その配慮のため、誰に向けての資料であるのかがわかりにくい印象となった。

2 これまでの 7 年間の経過を踏まえた改定

みどりのヒント集を活用し協議してきたことや、区ホームページ景観計画項目の他のガイドライン並列に掲載してきたことに問題等は生じてこなかったが、「緑化推進条例にある緑化計画の基準(みどりと公園課所管課)」の大掛かりな見直しが行なわれるタイミングに足並みを揃え、みどりのヒント集の時点修正や補足追記を中心に改定する判断とした。

3 第 17 回・第 21 回景観審議会部会、第 17 回景観審議会において

上記理由をもって、みどりのヒント集の改定報告を上げたところ委員から、従来の活用以外にも広く・深く・親しまれ・さらに専門的にとの、多岐多様のご意見やご指摘をいただいた。

[いただいた主なご意見等]

- ① 序章の書き出しが、ちぐはぐであったり、誰に向けての話なのか、定義づけなどがわかりにくい。
- ② 写真やイラスト素材を多用し、区民にもわかりやすいものにしてはどうか。
- ③ 一般区民向けの冊子(特にメンテナンスや樹種の写真等を充実させて)にして、窓口、イベントやホームセンター等で配付することで、緑の必要性や緑化推進の意識向上につながるのではないか。
- ④ 新宿区景観形成ガイドラインの一つである「みどりの手引き」程度のレベルの冊子にしてはどうか。

※参考：新宿区景観形成ガイドライン「みどりの手引き」は、P63で、オールフルカラー、写真や挿絵等が抱負な構成となっている。他の22区でもこれほどの内容の冊子はない。但し、充実したみどりの手引きではあるが、植物図鑑的な樹種別の写真の掲載はない。

4 第22回景観審議会部会での検討及び意見

(仮)景観みどりの手引き(案)に反映できる意見として①定義づけなどについて、本来の主旨に立ち返り、協議や届け出での活用をイメージし再整理した手引きに基づき説明した。

また、今回反映することが難しい意見に対し、次の見解を示した。

②写真やイラスト素材を多用する。

➡建築設計者やハウスメーカー・住宅デベロッパーなどの事業者に対してのものであるため、詳細はインターネットでお調べすることを推奨してきた。

・改めて写真の掲載を行うには、無料素材の有無、著作権、植物図鑑の取り込み、撮影可能な樹木樹種の調査及び撮影時期、刊行物やホームページ掲載に対するリーガルチェック等を行うこととなり、そのための費用や調査時間が必要になる。

③一般区民向けの冊子とする。

➡一般区民向けとしては、専門的内容など情報量が多すぎるため、みどりと公園課と協働で、緑化推進・緑を愛でる心を育む・景観まちづくりの取組みなどにつながるような新たな冊子の作成を3～5年後までの完成を目指していく。

④新宿区景観形成ガイドラインレベルへの引き上げ

➡都市計画課としては、既成のガイドライン(景観デザインガイドライン・景観色彩ガイドライン他)と同等の位置付けとして、ビジュアルに優れ、わかりやすく賛同が得やすいガイドラインの作成を、今後3～5年後までの完成を目指していく。

・そのためには、緑化推進担当所管課のみどりと公園課や自然環境保全担当課の環境政策課等と協議調整を踏まえ、庁内の理解を得た上で区実施計画等に計上しガイドライン作成を行っていく。

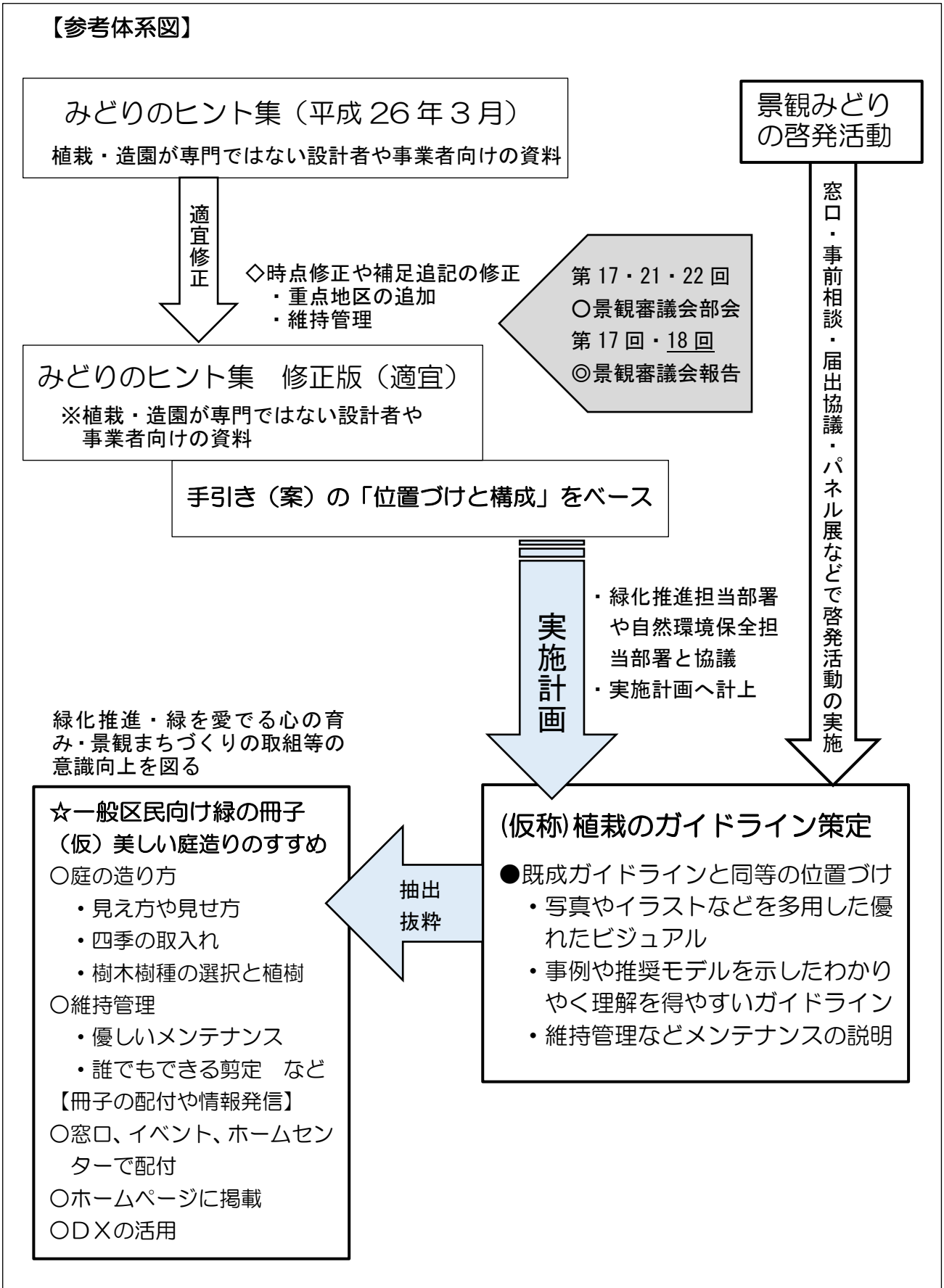
[部会からの意見等]

- (仮)景観みどりの手引き(案)が良くなったところとしては、「位置づけと構成」の部分だが、内容がそれに伴っていない。
- 手引き(案)は、このままでは、現在使用している「みどりのヒント集」の改訂版とは言えず、もっと検討や精査が必要だ。
- 近い将来、植栽のガイドラインを策定する方向に向かうのなら、手引き(案)の位置づけと構成をベースに進めるのが良い。
- 今のみどりのヒント集は良くできているしわかりやすいものだから、ガイドラインが策定されるまでの間は、ヒント集に追記すべき「景観形成重点地区」と「維持管理」を書き足してそのまま使用すればよい。
- 世田谷区のガイドラインのように、景観に捉われない観点や視点も必要だ。

[部会での協議のまとめ]

- ◆ 手引き(案)の「位置づけと構成」をベースに、植栽のガイドラインの策定に進めるのが良い。
- ◆ ガイドライン策定までの期間は、現在のみどりのヒント集を修正版として活用することでよい。との判断に至った。※参考体系図参照

【参考体系図】



※前回提案の（仮）景観みどりの手引き

